

韓国 シャインマスカット価格が急落

[FreshPlaza 2025年11月18日](#)

韓国におけるシャインマスカットの価格は、生産能力の拡大による供給過剰と品質のばらつきにより下落を続けている。聯合ニュースが伝える韓国農水産食品流通公社のデータによると、11月14日時点では2kg箱の平均小売価格は11,572ウォンであった。これは近年と比べて54.6%の下落であり、前年同期比でも19.1%低い。日によっては1万ウォンを下回ることもあり、その後やや持ち直した。(1万ウォン=約7.60米ドル)

10月の平均小売価格は毎年下落している。2020年は3万4千ウォン、2021年は3万3千ウォン、2022年は2万4千ウォン、2023年は2万1千ウォン、2024年は1万5千ウォン、2025年は1万3千ウォンであった。1万3,314ウォンという先月の平均は、シャインマスカットが国内市場の主要な生食用ブドウ品種の中で最も安価になったことを示している。巨峰は平均2万2,952ウォン、キャンベルアーリーは平均1万5,834ウォンであった。2021年にはシャインマスカットは巨峰より43%高価であった。

韓国農村経済研究院は、今月の卸売価格が2kg当たり7千ウォン前後にとどまると予測している。これは昨年の平均9,900ウォンより約3千ウォン低い。業界関係者は、この下落を栽培面積の急速な拡大に結び付けている。収益性が広く知られるに従い、多くの生産者がシャインマスカット栽培に参入することで供給が増加し、品質のばらつきが生じた。同品種は2017年にはブドウ栽培面積の4%であったが、2020年には22%、2022年には41%、2023年には43.1%となり、キャンベルアーリー(29.3%)と巨峰(17.5%)を上回った。

農林畜産食品部(農業省に相当)は「大玉果実の過剰生産は糖度を低下させる」として、消費者が適切なサイズの果実を選べるよう生産・流通現場で指導を行う予定である。この問題は国会による監査でも取り上げられ、李晚熙議員が価格対策について政府に質問した。農業協同組合中央会は、低価格に苦しむ生産者を支援するため、シャインマスカット1トンを海兵隊第2師団に提供した。

出典: AsiaBusinessDaily

TR4抵抗性を持つ新しいバナナ交雑種が試験段階へ

[FreshPlaza 2025年11月18日](#)

バナナ育種コンソーシアムが世界で最も消費される果実の未来を守るために重要な一步を踏み出し、複数の病害抵抗性品種が商業化前の試験段階に入った。ムサブリーディング社(MBC)は、遺伝子組み換え(GMO)ではない従来型の育種手法を用い、世界のバナナ生産に壊滅的な影響を及ぼす病害「フザリウム萎凋病熱帶株4(TR4)」に抵抗性を示すバナナの交雑種を特定した。

バナナは1世紀以上にわたり店頭で最も安定的に手に入る果実の1つであったが、TR4は次第にその将来を脅かしている。アジア発のこの病害は、中国、インドネシア、マレーシア、フィリピン、インド、パキスタン、ベトナム等、主要なバナナ生産国で深刻な被害をもたらした。過去30年間、西方へ拡散し続け、2019年にコロンビアに到達し、その後ペルーとベネズエラで確認され、エクアドルにも侵入した可能性がある。MBCはホンジュラスに拠点を置くコンソーシアムであり、2017年以来TR4対策のため従来型育種を進めてきた。会員には北クイーンズランドバナナ研究所(NQBR)、アグロアメリカ、ドールフード社等があり、50年以上にわたりバナナ及びプランテンの非GMO品種を開発してきたホンジュラス農業研究財団(FHIA)と協力している。

目標は、1950年代以来市場を支配してきたキャベンディッシュバナナに類似しつつ、TR4に対する抵抗性を強化した品種を作出することである。過去8年間にわたり、1千5百万以上の花が抵抗性を持つ複数の品種の花粉で授粉され、数千の植物が評価してきた。選抜された交雑種は現在、病害抵抗性、収量、食味及び総合的な品質を評価する試験に入っている。ほ場試験が完了次第、利用が可能となる予定である。

育種の成果は徐々に現れ始めており、開発の最終段階にあるものや、商業化前の試験に入っているものもある。これらの交雑種の中にはTR4だけでなくブラックシガトカ病に対する耐性を示すものや、将来の生産に役立つ可能性のある特性を持つものもある。MBCによると、この取り組みの目的は、罹病性の現行品種に代わる有効な選択肢を生産者に提供し、世界のバナナ供給網の長期的安定を支えることである。